

(演者：第一演者のみを掲載)

●医療安全管理

- ・ アナフィラキシーショックに対するエピペン®院内配置への取り組み (沖 洋充、北海道大学病院)
- ・ DOACs 服用患者における抜歯後の出血性合併症に関する臨床的検討 (村田真穂、長崎大学大学病院)
- ・ 計画外再入院患者の類型化に基づく医療供給側要因の検討-心不全患者に係る DPC データの活用 (新井崇弘、慶應義塾大学)

●病院管理

- ・ 患者による暴言・暴力と警察通報：医療者の認識と施設方針に係る全国調査 (石川英里、慶應義塾大学)
- ・ 応招義務をめぐる過去の裁判例と厚労省通知(2019・12)の要点 (藤田朋香、広島県弁護士会)
- ・ 「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」(令和2年1月15日、厚生労働省告示第5号)の要点と若干の考察 (島幹彦、愛知県弁護士会)

●臨床倫理

- ・ 東北大学病院における医療倫理コンサルテーションチームの活動 (田畑雅央、東北大学病院)
- ・ Duty of Care in the Context of Genomics Research and Clinical Care (Sou Hee Yang & Megumu Yokono, Waseda University)
- ・ 人工透析治療の中止事案をめぐる倫理的・法的課題の検討 (田中美穂、日本医師会総合政策研究機構)
- ・ スペインにおける臓器提供に係る制度・実態の紹介 (後藤新人、慶應義塾大学)
- ・ 臨床倫理コンサルテーション：米国生命倫理学会の取り組みと出版物の紹介 (及川正範、京都大学)

●研究倫理

- ・ Current Status and Necessity of Appointment of Lawyers in the Research Ethics Committee: National Survey in Japan (Eri Ishikawa, Keio University)
- ・ 経済学における交換移植アルゴリズムの構築と発展 (渡辺燃、東京工業大学)
- ・ 研究不正による懲戒処分が争われた裁判例の分析 (松本有平、早稲田大学)